

スリランカ天然ゴム排水処理テスト報告

1・混合酸化剤による、脱臭・消臭効果

以下の条件により脱臭効果を行った。

テスト機械：MIOX BPS

溶液濃度：300mg/L

パターン1、MIOX 5mg/L 結果 効果無し

パターン2、MIOX 10mg/L 結果 効果無し

パターン3、MIOX 20mg/L 結果 効果無し

パターン4、MIOX 200mg/L～300mg/L 結果 効果無し（MIOX との反応臭に変化）

考察：上記4パターンでのテストにより発生臭気が減衰する傾向は見られなかった。

2・凝集・沈殿効果

以下の条件により脱臭効果を行った。

パターン1、MIOX 5mg/L PAC 50mg/L

凝集効果 有り（フロックやや大ばらつき）沈殿スピード（やや遅い）

パターン2、MIOX 10mg/L PAC 50mg/L

凝集効果 有り（フロック大）沈殿スピード（やや早い）

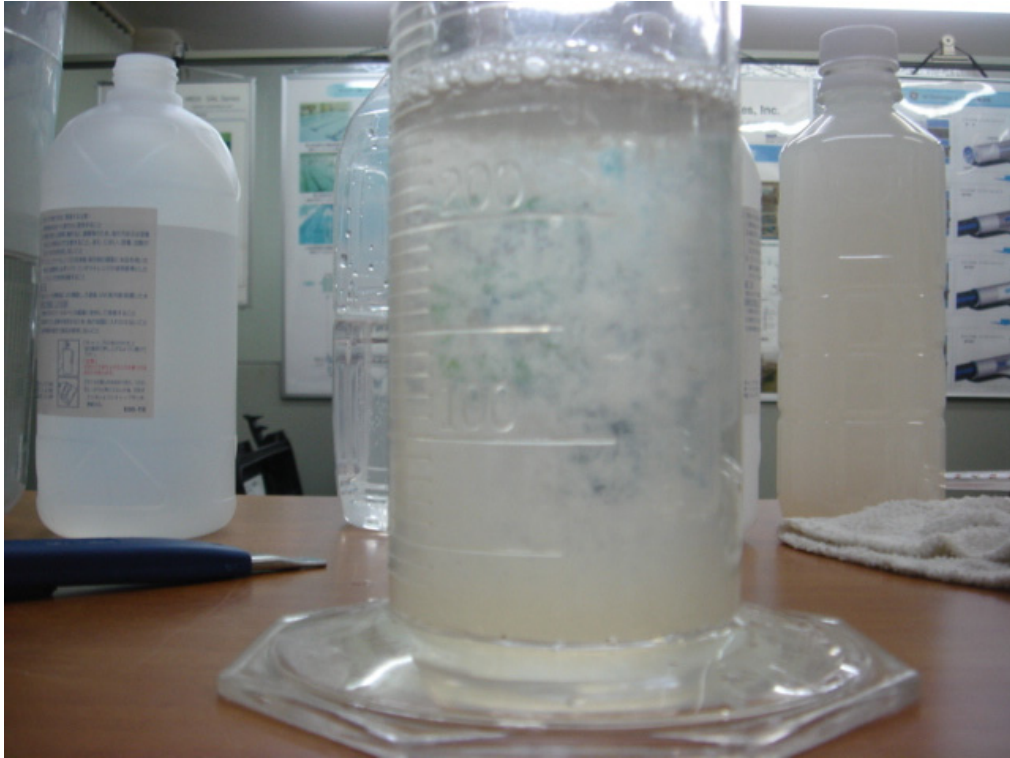
パターン3、MIOX 10mg/L PAC 100mg/L

凝集効果 有り（フロック中）沈殿スピード（やや遅い）

パターン4、MIOX 5mg/L PAC 100mg/L

凝集効果 有り（フロック中）沈殿スピード（やや遅い）

以上の結果から凝集に関しては、パターン2が最適と思われます。



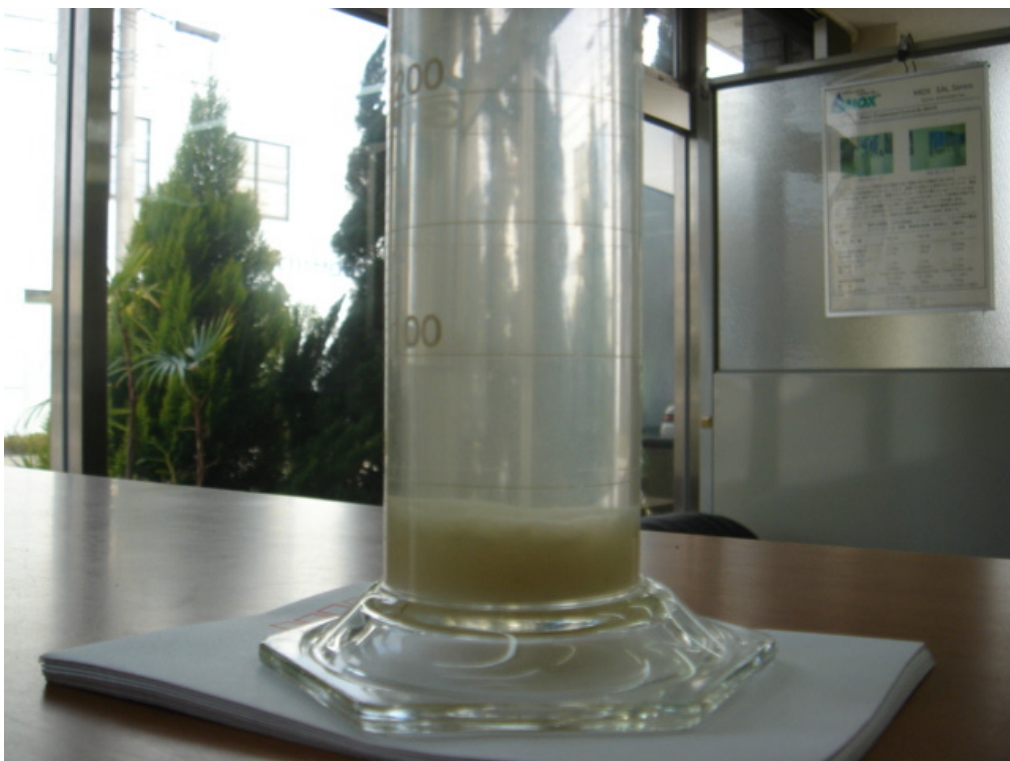
凝集沈殿状態写真 パターン1、MIOX 5mg/L PAC 50mg/L



凝集沈殿状態写真 パターン2、MIOX 10mg/L PAC 50mg/L



凝集沈殿状態写真 パターン2、MIOX 10mg/L PAC 50mg/L



凝集沈殿状態写真 パターン2、MIOX 10mg/L PAC 100mg/L
24時間経過後

考察：混合酸化剤の微細凝集効果を最大限に引き出せるパターンは、パターン2の、MIOX 10mg/L PAC 50mg/Lである。しかし、臭気に関しては、テスト直後では臭気の減衰は無かった。しかし24時間後の沈殿されたうわ水の臭気を確認した所若干の臭気の減衰が見られた。しかし、さほど大きな効果は認められなかった。

なお、追跡調査として後にこのうわ水を活性炭にてろ過してみる予定である。結果は後日報告致します。

以上

株式会社 エヌ・エス・ピー

井戸幸治